

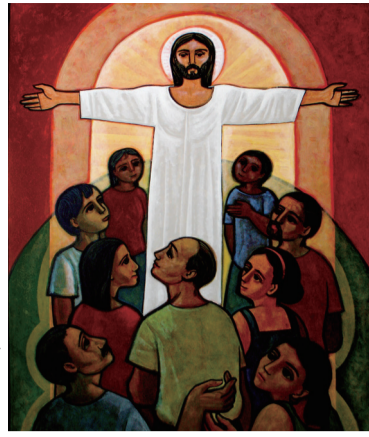


ヨゼフ アベイヤ 司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人
カトリック福岡教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡教区
定価 1部70円

3月の意向
【教皇の意向】生命倫理の課題への
キリスト者の対応
【日本の教会】召命

四旬節メッセージ みことばに耳と心を傾けて

福岡教区長 司教 ヨゼフ・アベイヤ



イエスは福音を述べる
画：MINO CEREZO 神父

「聖書と典礼」の後ろのページに、毎日の典礼で読まれる箇所が記されています。毎日が無理であれば、日曜日のミサで朗読されるみことばを自分で改めて読み、そのメッセージをより深く考えてみることも、もう一つの方法でしょう。みことばを通してイエスに触れ、天の父の心に満ちている愛と慈しみをより深く味わうことができます。しかし、どのように読めばいいかわからないと言う人もいらっしゃるでしょう。

今年も四旬節を迎える季節になりました。毎年この時期には教皇様からメッセージをいただきます。この原稿を書いている現在、メッセージはまだですが、発表されたら皆さんにお届けします。四旬節を有意義に過ごすための大きな助けになります。

回心への招き

四旬節の間、回心への招きは様々な形で繰り返されます。灰の水曜日には、ヨエルの預言「主は言われる。今こそ、心から私に立ち返れ」（ヨエル2・12）が読まれます。回心は、主が示される道に立

ち返ることであり、共に歩んでくださるイエスとの繋がりを深めることです。同じく灰の水曜日に朗読される、パウロのコリントの教会への手紙には次のようにあります。「今や、恵みの時、今こそ、救いの日です」（2コリント6・2）。四旬節は主との繋がりを深めるとき、繋がりを深めれば、自分のために、共同体のために、また、自分や共同体が関わる全ての人のために「恵みの時」となるものです。

聖書の読み方

聖書を通して、神様は私たちに語りかけてください。ただし、聖書のメッセージを正しく理解することが必要です。二千年以上も前に書かれたものから、注意をしないとそのメッセージを間違えて受け取る危険性があります。こういう意味で、聖書の読み方を学ぶ必要があります。そこでよく使われている一つの方法を紹介します。4つのステップがあります。

【第1ステップ】

まず、聖書の箇所を注意深く読み、読まれた箇所は何が書いてあるかをしっかりとつかむことです。

- ・何が書いてあるか。
- ・誰が登場しているか。
- ・その人々は何をし、何を言っているか、どのような反応を示しているか、など。

【第2ステップ】

読まれた聖書の箇所は、書かれた時に、何を誰に伝えたかったか。このことばを当時聞いた人々は、どのようにそのメッセージを受け止めたか。言い換えれば、時代の背景を把握することです。これは少し難しいかも知れませんが、聖書の解釈の本があれば助けになります。また、グループで聖書を読むこの作業は楽になります。無理なら次のステップに進みましょう。

【第3ステップ】

読まれたみことばを通して、私・私たちに、今日神様が「何を語ってくださったのか、何を伝えようとしておられるのか」それを祈りのうちに考えます。読まれたみことばのメッセージは、心にどのように響いてくるでしょうか。慰め、あるいは問いかけ。また、平安を感じさせるときもあり、目が開かれるときもあります。様々な反応を起こします。特に心に響いたことばがあれば、マークしてゆっくり思い巡らしましょう。

【第4ステップ】

そして最後に、私・私たちに、今日改めて語ってくださった神様にどのように応えるかを考えます。そのために簡単な祈りを作成したり、一つの決断・決意を捧げたりすることが大切です。

グループでともに聖書を読み、与えられた気づき、問いかけ、恵みを分かち合うと、みことばはより深く心に入り、生活の支えとなります。最近教区報では、各小教区や様々なグループで行われてい

時の話題

親の召命

子どもが教えてくれること

私には、やんちゃで幼い子どもがいます。子どもを育てることは、私の長年の願いでした。子どもに恵まれた時、この子は神様から預けられた、私は子育てという役割を頂いたと思いたくありません。その時は、強く感じたのは、子どもが40代半ばだったからです。熱い気持ちで始まった育児は思うように体がついていかず、すぐに弱気になり、何度も神様に力を与えて頂きました。「それなのに」と私には申し訳なく思うことがありました。神様から与えられた奇跡なのに、私の子どもは受洗していません。幼い洗礼を望んでいましたが私は信じていない長男の夫と結婚しました。夫は私の信仰を受け入れてくれましたが、嫁ぎ先はキリスト教に全く馴染みがなく理解を得られないところでした。ただ神様との繋がりの中で子どもに育ってもらいたくて、カトリックの幼稚園を選びました。そして何える時に親子でミサに与っています。子どもの洗礼については、ずっと悩んでいます。でも思い返すと幼児洗礼だった私も教会から遠ざかり、親を悩ませた時期がありました。部活だ仕事だと私がミサに与れていない事を母はいつも心配してました。私の場合単純で、そのうちに苦しい時、神様のお力を借りなければ立つていられなくなりました。母も、何より神様も「私を待っていてくれたのかな」と深い愛を感じます。私は今、子どもに愛することを教えられています。言うことをきかない、すぐぐずる、イタズラ三昧、危ない事をする。私の頭皮からは湯気が出っ放し中です。それでもどんなに腹が立つても子どもは愛おしくなりました。まだまだ子育ての真最中。いつか子どもが神様との結びつきを強めたいと自ら言ってくることを信じて、主との繋がりの中で見守り続けます。鳥栖教会 前間優子

穏やかな教区司祭評議会



議論も聖霊の働きに導かれて

1月25日（火）午後、大名町教会にて教区司祭評議会が行われた。コロナ禍の中でも殆どの評議員が参集し、穏やかに議論が交わされた。

司教より、「今日はパウロの回心の祝日、彼に倣い宣教の熱意をもって職務を果たすように」との挨拶があった。会議の司会は教区本部事務局主管の青木悟神父が行った。

【議題1】各地区からの報告
各地区とも、司祭集会や宣教司祭評議会が定期的に開催されていることや会議内容が簡単に述べられた。

【議題2】宣教司祭方針の進捗状況について
現在、方針のまとめ作業をしており、4月には一冊のパンフレットとリーフレットを発行する予定との説明が司教からなされた。内容としては、教区民の意見を含め、福岡教区の歩みや教皇来日からの教会の動向などが掲載される。

【議題3】教区委員会の再編成について
現在の教区委員会を整理し、スマートにしたとの司教の提案を評議会で討議した。表を用いて説明され、各委員会の責任者は司祭、部門については信徒が担当者となる場合もあるということだ。

【議題4】司祭評議会の規約の見直しについて
司教の提案として、司祭評議員を各地区司祭団から数人ずつ選出し、その中から地区長を司教が任命するというもの。これについて評議員は賛成多数で司教に賛えた。

【議題5】司祭人事について
人事発表は2月23日に行われ、全司祭には一覧表で、当該者には辞令で知らせる事とする。尚、辞令の日付は4月1日、教区報では本号に掲載される。

【議題6】来年度の司祭集会のテーマについて
希望するテーマを司祭団から募集することになった。

【その他】3月21日に行われるドミニコ会の司祭叙階式への参加者の制限人数が示された。また、現在の神学生の動向についての話や2月5日（土）の「奉獻生活に対する感謝ミサ」の案内があった。

最後に、司教による祝福を受け、司祭評議会は閉会した。



みみちくせ

白い犬が尾を振りながら楽しそうに雪を食んでいた。犬には雪が天からの白い食べ物のように思えたのだろうか。モーセ時代に、シナイに入る前にお腹をすかせたイスラエルの民はモーセを通して神からの白い食べ物をお願いした。満腹した彼らは神に感謝した。生き延びることができた。旅を続けることができるようになったからである。新約になって、天（神）からの白い食べ物は毎日口にすることが出来るようになった。それは、「聖体」である。いただいた魂が清められ、悪に対して強められ、いのちを支えてくれるものである。また、生き方を天（神）に向かわせ、永遠の宴に導いてくれる優れものである。この世のいのちを永遠のいのちにつなげてくれる。そこでイエスがご自身をいけにえとして捧げられ、復活してください。白い、小さな、丸い食べ物として来られるという神秘の賜物である。私たち信者はこの尊い「聖体」をどのような手で心でいただくのだろうか。聖パウロは「ふさわしくない状態で『主のパン』を食べたり、『主の杯』を飲む人があれば、主の体と血に対して罪を犯した者となるのです」と言っている（1コリント11章参照）。私たちは手だけでなく、心も消毒し、よく準備して聖体をいただく必要がある。生涯の四旬節を乗り越え、永遠の復活の栄光に与るまで、旅の糧となる聖体の主イエスを求め続けるようにしましょう。（S）

祝司祭叙階50・25周年

今年、司祭叙階50周年、25周年を迎える司祭たちに、言葉を寄せていただきました。

叙階50周年

F・マツケイ神父 (聖コロンバン会)



オーストラリアにあるコロンバン会の神学校6年目の時、「ここ働きたいか」と尋ねられました。それについて祈り始めると「あなたの使命は、日本です」という神様の答えをハッキリと聞きまし

翌年5月20日に司祭叙階を受け、1973年に来日しました。日本での滞在は、くつろぐことができるだけでなく「私のいるべき場所はここである」と感じています。叙階後、日本では5つの教区と12の小教区で働いてきました。私にとって苦しみや問題は、自身の明け渡しや神への信頼、自分の成長や、他者を助けるための神様からの贈り物です。時々、皆さんと同じように苦しむ時もあります。イエスの喜びの恵みをいつも体験しています。その中に「聖霊の満ちた」という祈りを通して神の愛の体験や「苦しみ

叙階25周年

M・コース神父 (パリ外国宣教会)



「罪人のマルセルです。忠実であつたかどうかわかりませんが、今日まで来られたことを告白して神様に感謝いたします。そして福岡教区司祭団と信徒の皆様、私を受け入れてくださりありがとうございます。」

私は、司祭としての泉から汲むのはイエス・キリストの御言葉ですね。DARCの薬物依存症者の影響かも知れませんが、プログラムがなければ動くことがなかなかなかうまくいきません。イエス様も福音宣教を始める時に、ナザレの会堂でイザヤの預言を自分のものにし(ルカ4章18、19節)「貧しい人に福音を告げ、囚われている人に解放、目の見えない人に視力の回復を告げ、圧迫されている人を自由にする」ために十字架の上で命を捧げた。主の言葉を信じて宣教師としてキリスト者のコミュニケーションと共に歩みながら、すべての出会う人にこの愛と希望の福音を伝えることが、私は司祭としての務めだと少しづつステップを踏みながら確認していききました。 教皇フランシスコは『福音の喜び』の中で「私たちの間の一番弱い小さな人々を優先しなければならぬ。そして彼らを出迎え共に歩むために周縁部へ出かけて行かなければならない」と言っています。教会は野戦病院のようになら

叙階25周年

田中 重治 神父 (福岡教区)



「司祭になって〇〇がしたい」ではなく、自分を捨て、イエス様の、教会のどんな求めでも、はいと答え続ける司祭でありなさい。司祭に叙階する前に先輩の神父様から言われたことです。自分に不相応な務めもたくさん求められました。それでも、「はい」と答え、その務めに全力を尽くしてきたつもりです。ただ、たくさん失敗し、多くの人たちに不快な思いをさせ、傷つけてしまったことも事実です。陰口、後ろ指をさし続けられてきました。それでも走ってきたら、いつの間にかの今日です。日々、多くのことを学ばせてもらい、支えてもらったのは、皆さん、特に青少年たちでした。感謝の内、体の続く限り、これからは走って行くことができれば幸いです。

R・フィリピーニ神父 (聖ザベリオ宣教会)



「人生百年時代」に生きていく私たちにとって、25年という年月は大した節目ではないと思われられるかもしれません。しかし、司祭叙階の秘跡は新たな誕生であり、新しい人生の始まりです。



助祭の時の遠山神父

「何でこんなになったとや」。これは30年以上前、当時の私の先輩司祭の姿と彼の神学生時代の写真とを見比べて、一人の神学生が思わず口にした言葉です。その先輩司祭の変貌ぶりに驚いたのです。 実は私も最近、広報委員の方から頼まれて、教会ニュースに掲載する為の神学生時代の写真を提出しました。その写真を御覧になった方達は、先の神学生と同じ思いを抱かれたかもしれません。 「何でこんなになったとや」。自分の姿形は変わりました。顔の皺やシミは増え、体重が増し、体型も変わりました。司牧で関わる人達も、東京、長崎、福岡、それぞれの場を変遷してきました。しかし変わらない事もあります。イエス様の愛です。25年間側について、励まし続けてくださったイエス様に感謝!

世界奉獻生活の日

講話と感謝ミサ



自らも奉獻生活を生きる司教

2月2日(水)の世界奉獻生活の日にあたり、2月5日(土)カテドラル大名町教会において、ヨゼフ・アベイヤ司教による講話と感謝ミサが行われた。 司教は、教皇ベネディクト16世の言葉を引用しながら「奉獻生活を送る者は、単なる何かをしている人・団体でなく、イエスの生き方を想い起こさせる存在であり、血の繋がらない共同生活者同士

計報

ダニエル 戸村悦夫 神父 (フランシスコ会)



1月24日帰天。享年82。 1939年長崎県鯛之浦生まれ。1964年莊嚴誓願。1968年3月司祭叙階。2005年〜2011年まで高宮教会主任司祭を務めた。 Anthonyamy 氏 オブレート会のアントニオ・サミ・イルダヤラジ神父様(古賀教会協働司祭)のご尊父が1月26日帰天。享年90。ご尊父アントニオ・サミ様の永遠の安息をお祈りください。

福岡教区人事異動

- 〔巡回は巡回教会〕 (内は現任地、順不同)
小教区
宮原良治司教(ロザリオの園修道会チャプレン・佐賀教会協力) 佐賀教会協力
ロレンツォ・マネルバ師(鹿島教会主任) ロザリオの園チャプレン
江夏國彦師(戸畑・若松教会主任) 唐津教会主任
山元眞師(小郡・鳥栖教会主任) 西新教会主任
杉原寛信師(カテドラル大名町教会主任) 黒崎・天神町・門司教会主任
下町豊重師(佐賀・多久教会主任) 行橋・(豊津教会主任)
川上惣一師(黒崎・天神町教会主任) 小郡・鳥栖・(基山教会主任)
平田三好師(門司教会主任) 武蔵ヶ丘教会主任

福岡教区人事異動

- 青木悟師(吉塚・南粕屋管理) 小郡・鳥栖教会協力
牧山美好師(福岡コレジオ院長・今村・本郷教会協力) 佐賀教会主任
中村彰師(西新教会主任) カテドラル大名町・(能古島教会主任)
寺浜亮司師(湯川教会管理) 吉塚・(南粕屋教会主任)
アントニオ・サミ・イルダヤラジ師(オブレート会) (吉塚・南粕屋教会協力) 今村・本郷教会協力
ソ・インドック師(韓国・イオン教会) (戸畑・若松教会主任) 戸畑・若松教会主任
中村信哉師(唐津教会主任) 飯塚教会主任
レナト・フィリピーニ師(聖ザベリオ宣教会) (玉名・荒尾教会主任) カテドラル大名町教会協力
リチャード・ストリゼウスキー師(神言会) (伊万里・武雄教会) 伊万里・多久教会主任
イ・ハヌン師(韓国・テグ教区) (行橋教会主任) 鹿島・

教区外

- 船津亮太師(小倉教会助任) ローマ留学
サトルニノ・オチヨア師(イエズス会) (イエズス会福岡修道院長・福岡コレジオ副院長) 東京教区内へ
役職・担当
中村彰師 司教総代理
レナト・フィリピーニ師 新設 教区福音宣教推進・信徒養成担当

不動産全般/売買・賃貸・管理
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業
森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は
メモリード赤一丸
0120-45-1616

別れ・出逢い・旅立ち
草苑
カトリックのご葬儀
木下株式会社
TEL 092-526-5656

アベイヤ司教 司牧訪問記

「1年をかけて福岡教区の全小教区を回りたい」というアベイヤ司教の想いは、今回最後の小教区訪問で成し遂げられた。

武蔵ヶ丘教会

1月30日(日)アベイヤ司教が久しぶりに武蔵ヶ丘教会を訪問した。今回は2020年の8月2日であったので、1年と半年ぶりになる。

武蔵ヶ丘教会は現在、主任司祭の不在が続き、今では荒尾、玉名教会主任のレナト神父が管理者になっているが、時には熊本市内の司祭が交代でミサを捧げる日も少なくない。熊本市内の神父の方々は大変ありがたく思う。



熊本信愛女学院中学・高等学校 (熊本県熊本市)

人生の多感な時を過ごす中学・高校時代。学業と信仰教育の結びつきについて、その様子や課題などを現場から月替わりでご寄稿いただく「ミッションスクールの今」。最終回は熊本県熊本市にある熊本信愛女学院中学・高等学校に話を伺った。

熊本信愛女学院は今年創立122周年を迎えます。1877年にフランスのショファイユに本部をおく幼きイエズス修道会から4人のシスターが来日し、その中の一人メール・ボルジアが1900年に本校の前身である「熊本玫瑰(まいかい)女学校」を創立しました。校訓は「聖く・明るく・美しく」。この訓育標語は生徒によって墨書され各教室に掛けられています。『聖く』ってどんな意味ですか?と質問するのは新入生。宝塚歌劇団のモットーとして有名な「清く・正しく・美しく」の「清く」を連想する子もいるようです。私が赴任して間もない頃、ベテランの先生方やシスターが生徒達にこう話していました。『聖く』とは『祈る』ということ。『祈る』時には自分のためだけではなく、他者のためにも願うことが大切です。そして願うだけではなく、行動できる人になりましょう。ああ、これが信愛教育の原点なのだなと感銘を受けたことを思い出します。

熊本信愛女学院は祈りの溢れる学校です。朝夕のお祈り・聖歌、午後の授業の前の黙想。行事においては5月の聖母祭、11月の学院慰霊祭、12月のクリスマス祭と生徒達は日々の生活の中でカトリックの精神を学んでいきます。地域とのつながりも深く、たとえば毎年12月24日には近隣の病院を訪問し、聖歌を歌いながら患者さんたちと交流するクリスマスキャロリングを長年に亘って続けています。伝統的にボランティアが盛んな学校でしたが、その裾野をさらに広げようと平成20年には生徒達が主体となりボランティアセンターを発足させました。このセンターは生徒達自身がボランティアを企画し、一人ではなかなかできないボランティアをより多くの信愛生に伝え、力を結集することを目的として設立したものです。

こうした活動の一つ一つから、創立者の大切にされたカトリックに基づく愛と奉仕の崇高な精神が今も伝わっていることを確信することができます。

今年も卒業の季節となりました。創立から120年の時を経て、世の中の様子も価値観も目まぐるしく変わっていきいますが、この学院では目に見えぬものを「信」じ、人を「愛」する不易の精神に今も触れることができます。ここで過ごした生徒達が「地の塩、世の光」となって学院の精神を社会で実践してくれることを願っています。この度、他校の様子を拝読し自ら執筆する事で、カトリック学校の良さを改めて確認することができたことに心から感謝致します。(国語科 山口 孝徳)

※「ミッションスクールの今」は今回で最終回となります。ご協力くださった学校関係者の皆さまには心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

クリスマス祭の聖劇の様子



2月6日(日)、アベイヤ司教が帯山教会に来られ、コロナ禍で延び延びになっていた訪問がやっと実現した。

帯山教会



久しぶりに、たくさんの笑顔が集った武蔵ヶ丘教会共同体の皆さん

(報告)黒丸雄二

その後、武蔵ヶ丘教会の役員と弁当で簡単な食事を会行った。コロナ感染予防もあつたが、楽しい時間を過ごすことが出来た。

晴天に恵まれたこの日、帯山教会では2人の青年たちの堅信式がアベイヤ司教の来訪に合わせて執り行われた。居合わせたカテキスタの一人は、「思えば、一昨年暮れに天に召されたマルケット神父様から『彼らに堅信の秘跡を授けさせたいので、そのためのカテキスタを引き受けてくれないか』と声を掛けられたのは2019年の初夏でした。その後、新型コロナウイルス感染症の広がりの中で中断を余儀なくされつつも、何とかこの日を迎えることが出来ました。私は、やっとマルケット神父様との約束のひとつが果たされたという思いと、この日が迎えられた感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。マルケット神父様もきっと喜んでくれていることだろうと思いつつ、堅信の秘跡を授かる2人を見守りました」と語った。この日、アベイヤ司

教から堅信の秘跡を授かることができたこの青年たちは、これから教会の心強い担い手になってくれることを願っている。ミサの後、アベイヤ司教は信徒に対し、昨年実施された宣教師のアンケートの集計結果について、教区としての指針がとてよく理解できるように説明したり、ミヤンマーから来ている助祭の方の話などをされた。最後に、「また帯山教会に来ます」と言われ、会が閉じられた。

福岡教区内の殉教者を偲んで

近づくことができたら

先月号より始まった「福岡教区内の殉教者を偲んで」の2回目は、佐賀地区。彼らの信仰と希望、そして愛を思い起こし、私たちに求められる歩みを黙想したい。



「太刀洗川」史跡

不動山キリシタン殉教地

伊万里教会 吉浦健次

佐賀県西部、長崎県との県境に近い嬉野市の不動山地区は、17世紀以来キリシタン殉教の伝説が語り継がれている所です。1605年に大村藩主・大村喜前がキリスト教禁止に転じたことから、信仰の自由を求めて宣教師や信徒が大村領から不動山に逃れて来て、教会が建てられました。1614年に、徳川家康による禁教令のため教会が取り壊されたものの、数百人のキリシタンが不動山の深い谷に潜伏していました。ところが1632年、不動山で「四郎衛門」というイルマン(修道士)が匿われてい

ることが発覚し、佐賀藩による大規模なキリシタン討伐が行われました。この「四郎衛門」は、2008年に列福されたニコラオ福永ケイアンと同一人物とみられ、不動山を脱出した直後に捕らえられて翌年長崎で処刑されました。不動山にいたその他のキリシタンたちの消息は不明ですが、ほぼ全員が殉教または逃亡したと思われる。不動山地区では、近現代まで地元の仏教の人たちによってキリシタン殉教の歴史が語り継がれ、いくつかの史跡が大切に保存されてきました。文献資料によって確認できるものはほとんどなく伝説の域を出ませんが、かつての教会跡と考えられる「異宗徒塚」や、山奥に逃げるキリシタンがやむなく子どもを捨てたとされる「子捨谷」、役人がキリシタンを斬った刀を洗った「太刀洗川」などの史跡が残っています。1990年からは、佐賀地区カトリック教会と地元住民によって「殉教者祈年祭」が毎年開催されています。



心強い担い手の2人の青年とともに

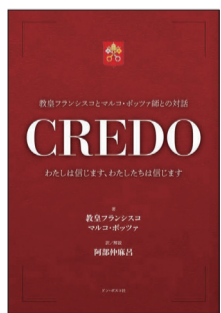
(報告)横田 佳恵

帯山教会共同体は今回の司牧訪問に感謝すると共に、是非、またお越しくださいる日を楽しみにしている。



☆CREDO わたしは信じます、わたしたちは信じます

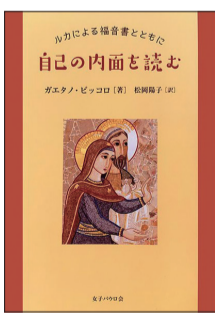
教皇フランシスコ、マルコ・ボツツア(著) 阿部伸麻呂(訳・解説)



教皇フランシスコのやさしくも奥深い言葉で「使徒信条」の各段落を私たちの心に落とし込んでいく、インタビュ記録集。自らの司牧経験で得た信念をもって、「使徒信条」の奥深い意味を伝えていく教皇の言葉は、現代社会の中で受肉した神に出会う道を教える希望の在り処を示してくるだろう。

ドンボスコ社発行 税込価格1320円

☆自己の内面を読む ルカによる福音書とともに ガエタノ・ピッコロ(著) 松岡陽子(訳)



イエスの祈り、あわれみ喜びに照らされ、癒やされて自分を振り返る——自分の考え方や感情の動きなどの内面に気づき、真剣に自己や神と向き合い、変えられていくために。

女子パウロ会発行 税込価格1980円

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 TEL.830-8543 福岡県久留米市津福本町422 TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115 聖マリアヘルスケアセンター TEL.830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5 TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306

FPO 福岡プライムケア訪問看護ステーション 自宅療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。 春日市天神山7-91 TEL&FAX 092-517-6313 福岡プライムケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

キリスト教書籍・用品 お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ! http://www.paulus.jp パウルスショップ メディアによる福音宣教のために... サンパウロ福岡宣教センター 10:00~18:00(月~土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930

本との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA 聖母パウロ会 福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F 平日/AM10時30分~PM3時 日曜/AM11時~PM2時(定休日水曜・祝日) TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601 URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標 キリストの愛に駆り立てられて、人々とともに歩む教会

性虐待被害者のための祈りと償いの日

2016年教皇フランシスコは、全世界の司教団に向けて、「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を設けるよう通達しました。日本の司教団はこの呼びかけに応え、この日を「四旬節第2金曜日」と決めています。今年3月18日(金)となります。

下記URLも参照に、この日をすべてのキリスト者とともに、傷ついた被害者の方々の悲しみと苦しみを理解し、彼らのいやしと回復のために、いつくしみ深い神に祈り、また、全世界がこの困難な状況乗り越えるために、神からの恵みとカづけを祈りましょう。

<未成年者と弱い立場におかれている成人の保護のためのガイドライン> (カトリック中央協議会)

https://www.cbj.catholic.jp/2021/12/17/23747/
※各国語版 GUIDELINES FOR THE PROTECTION OF MINORS AND VULNERABLE ADULTS
https://www.cbj.catholic.jp/2021/12/17/23773/

広告欄 福岡教区セクハラ対応窓口の案内(4面右下)を掲載しています。

日本カトリック司教協議会主催 教皇フランシスコ回勅『兄弟の皆さん』を学ぶオンライン講座ご案内

2月14日から開催された2022年度定例司教総会の期間中、YouTubeによる視聴が可能なオンライン公開講座が開催されました。

テーマは「教皇フランシスコ回勅『兄弟の皆さん』を学ぶ」です。司教団とともに、教皇フランシスコ回勅『兄弟の皆さん』を学び、深めましょう。現在下記よりアーカイブ配信を視聴できます。

【QRコード】右記
【URL】https://www.cbj.catholic.jp/2022/02/09/23961/

福岡教区納骨堂管理委員会よりお知らせ

名称「福岡教区カトリック納骨堂2号館共同納骨所」(和田墓地)の募集を2022年4月1日から始めます。

【募集数】第一期(200柱)(生前申込み)
【使用寄付金】100,000円以上(維持管理費は不要)
【問い合わせ】各小教区納骨堂委員まで(3月7日以降)
【電話】080-2771-6544(3月7日以降)

※申込書は教区ホームページからもダウンロードできます。ホームページのメニューから、教区概要⇒福岡教区カトリック共同納骨所をクリックしてください。(3月7日以降)

URL: http://fukuoka.catholic.jp/noukotsusho/
QRコード: 右記

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

北九州召命を共に祈る会
【日時】3月10日(木) 14時から
【場所】小倉教会(内容)ミサ(司式・船津亮太神父)(問合せ先) 090-9079-3636 永田

北九州

福岡召命を共に祈る会
【日時】3月15日(火) 13時から
【場所】大名町教会・小聖堂、3階会議室(内容)司祭召命祈願ミサ(司式・牧山美好神父)・分かち合い(問合せ先) 090-9079-3636 山口

熊本

熊本地区召命を共に祈る会
【日時】3月14日(月) 9時から
【場所】手取教会(内容)ロザリオ・召命祈願ミサと話し合い(問合せ先) 090-969-2227 本渡教会 浦川務神父

案内板

会合と催し

3月のこよみ

福岡教区ホームページの楽しみ方 その1
福岡教区ホームページでは、まだ作成中のページもありますが、教区からのお知らせや、教区内のイベント、教区報、主日の音声説教(YouTubeで配信)など、最新の情報を発信して、下記メニューから色々なことを検索できます。



真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ: イエス様のように祈る
日 時: 3月10日(木) 10時~15時
内 容: 「イエスも洗礼を受けて祈っておられると」(ルカ3:21)
指導者: S. フランコ神父(聖ザベリオ宣教会)
問合わせ先: 真命山諸宗教対話センター
次 回: 4月7日(木) 「イエスはひざまづいてこう祈られた。父よ御心なら、この杯を」(ルカ22:42)
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7
E-mail shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

- 6日(日) 四旬節第1主日 朗読奉仕者選任式・唐津教会
7日(月) ♯ミカエル平田寛(2002年 門司教会)
8日(火) 教区顧問会
9日(水) ♯W.カリー(2012年 手取教会)
11日(金) ♯L.グリフィス(2013年 菊池教会)
13日(日) 四旬節第2主日 佐賀・多久教会司牧訪問
17日(木) ♯M.ラバルタ(2015年 天神町教会)
18日(金) 日本の信徒発見の聖母(長崎の信徒発見記念日)
18日(金) 仙台教区・司教叙階式(〜19日)
性虐待被害者のための祈りと償いの日
19日(土) 聖ヨセフ アベイヤ司教霊名の祝日
♯ヨゼフ牧山田一(2018年)
20日(日) 四旬節第3主日 武雄・伊万里教会司牧訪問
21日(月) 聖ドミニコ修道会 司祭叙階式
25日(金) 神のお告げ
26日(土) 馬渡島・呼子・松島教会司牧訪問(〜27日)
27日(日) 四旬節第4主日
♯L.ペーカー(2019年)
30日(水) ♯V.チェリツァ(2005年 唐津教会)
31日(木) (宗法)幼稚園新任教職員辞令交付式・研修会
【4月】
1日(金) ♯J.クレハン(2008年 荒尾教会)
3日(日) 四旬節第5主日 鹿島教会司牧訪問
♯A.アレグリーニ(2006年 ロザリオの園)
4日(月) ♯ベトロ黒川博(2002年 大牟田教会)
♯V.ヤンキャンブ(2019年)
6日(水) ♯アウグスティノ片岡哲夫(2016年)
7日(木) 常任司教委員会

ゴチックは司教日程

3月2日から 四旬節愛の献金



集いの案内について

掲載依頼のあった集いのみ、掲載しております。感染症の状況によっては開催が中止となる場合もあります。

カトリック労働者運動 (A.C.O. 通称アセオ) ってなに?

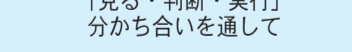
私たちは働く者として「人間らしく生きよう」と、生活と生き方を分かち合える仲間の集まりです。働く者とその家族、司祭・修道者が共に歩む運動です。全国には7地区あり、機関紙「働く人」を年2回発行。年間行事として練成会・黙想会を開催しています。月1回の生活の見直しでは、会員がそれぞれの場でかかわる活動や生活をレポートし、具体的に「見る」ことを大事に分ち合います。活動は様々です、地域や、他団体のメンバーとも一緒に活動します。大村入管センター面会、裁判傍聴、憲法9条を守る活動、路上生活者への炊き出し、介護、生活相談、外国人労働者からの相談、視覚障がい者音声訳ボランティア、アスベスト労災問題等。

続いて「判断」に入ります。レポートには各自が福音を添えて報告します。「今イエス様がここにいたらどう行動するか?」を忘れないように福音から探します。この時、特に司祭・修道者の存在が大きな恵み・力となると感じています。

近年、特に働く者の国際連帯を大切に、国際キリスト者労働者運動(WMCW)に加盟し、地球の様々な場所からの連帯の叫びを伝える全体的視野をいただいています。今は外国籍の人々、多くの労働者が来て、私たちの身近により深く入ってきています。この人々と向き合い、共に生きることに国際連帯が拓けています。日本の労働力不足を埋める政策的対策に、どれだけの不備があるかを示し変えていかなければならない使命が私たちにあります。私の教会にもいます、その友が...

「イエスの決断と私たちの決断、それが重なる時、私たちの救い、また神の国が実現していく」ことに信頼しながら「実行」へと歩みます。

「見る・判断・実行」分かち合いを通して
天神町教会 下田猛



- 468・3631 西田
福岡ホスピスの会 「がんばり」を通して人生を語る会 「ぬくみカフェ」(日時) 3月26日(土) 14時~16時30分(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階
*一般500円(茶菓子代)・20人限定※当事者・家族・友人・その他どなたでも参加可(予約・問合せ先) 090-1162-6395 柴田
子どもを亡くした親の会 「虹の会」(日時) 4月2日(土) 14時~16時(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階(参加費) 500円(茶菓子代)
師イエス祈り会 (日時) 3月18日(金) 10時~11時(場所) 高宮教会・小聖堂(問合せ先) 090-9079-3636 山口

- 468・3631 西田
福岡ホスピスの会 「がんばり」を通して人生を語る会 「ぬくみカフェ」(日時) 3月26日(土) 14時~16時30分(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階
*一般500円(茶菓子代)・20人限定※当事者・家族・友人・その他どなたでも参加可(予約・問合せ先) 090-1162-6395 柴田
子どもを亡くした親の会 「虹の会」(日時) 4月2日(土) 14時~16時(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階(参加費) 500円(茶菓子代)
師イエス祈り会 (日時) 3月18日(金) 10時~11時(場所) 高宮教会・小聖堂(問合せ先) 090-9079-3636 山口

- 468・3631 西田
福岡ホスピスの会 「がんばり」を通して人生を語る会 「ぬくみカフェ」(日時) 3月26日(土) 14時~16時30分(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階
*一般500円(茶菓子代)・20人限定※当事者・家族・友人・その他どなたでも参加可(予約・問合せ先) 090-1162-6395 柴田
子どもを亡くした親の会 「虹の会」(日時) 4月2日(土) 14時~16時(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階(参加費) 500円(茶菓子代)
師イエス祈り会 (日時) 3月18日(金) 10時~11時(場所) 高宮教会・小聖堂(問合せ先) 090-9079-3636 山口

- 468・3631 西田
福岡ホスピスの会 「がんばり」を通して人生を語る会 「ぬくみカフェ」(日時) 3月26日(土) 14時~16時30分(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階
*一般500円(茶菓子代)・20人限定※当事者・家族・友人・その他どなたでも参加可(予約・問合せ先) 090-1162-6395 柴田
子どもを亡くした親の会 「虹の会」(日時) 4月2日(土) 14時~16時(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階(参加費) 500円(茶菓子代)
師イエス祈り会 (日時) 3月18日(金) 10時~11時(場所) 高宮教会・小聖堂(問合せ先) 090-9079-3636 山口

約25年間、教区報編集に携わってきました下町神父です。例えば、水戸黄門ではありませんが、取材や寄稿していただいたことから、教区内をあまねく数回巡り、多くを知ることにになりました。同時に皆様方のカトリック者としての自覚と積極さを感じました。これまでいただいたご厚情を忘れず、新しい歩みをしたしたいと思います。編集人が替わりましても、変わらずご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。心身のご健康を祈ります。(S)

福岡教区・広報室からのお願い

皆様のベストショット(風景や季節の植物、動物 etc)や、イラストをお寄せください。趣味で撮影された写真や書き溜めたイラスト(カトリック関係のもの以外でも、景色や似顔絵 etc)など大歓迎!教区ホームページの「音声説教」の背景写真や、教区報の挿絵、教区内(小教区、修道会、関係各所含む)配布の刊行物などに使用させていただきます。作品は誰でも使用出来る「著作権フリー」の素材としてご提供をお願いいたします。送付方法は、広報室へメールに添付いただくか、直接郵送のどちらでも構いません。カトリック福岡司教区 広報室(cdf-kouhou@nifty.com) 〒810-0028 福岡市中央区浄水通6-28 カトリック福岡司教区本部事務局 広報部。

私たちと一緒におはなしませんか?
安心してお話出来る人をお探しの方へ。
メール: hanahanahimawari2020@gmail.com
☎: 080-4735-6971 (9:00-21:00)
※対応できないときもあります。
※原則1回30分です。
LINE 右記 QRコード
一ぶろじょくとHana一
ぶろじょくとHanaは、社会福祉士・看護師・シスターなどが在籍している、礼拝会を中心としたグループです。

福岡教区セクハラ対応窓口
セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談
セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話 080-2694-4182
受付時間 月~金(祝日を除く)
10:00~12:00 13:00~16:00